



能都収第73号
平成19年5月1日

国土交通省道路局長 宮田年耕 様

能代市長 齊藤滋 宣



中期的な計画の作成にあたっての意見の提出について

平成19年4月2日付け国道企第114号で提出依頼ありました標記について、別紙
のとおり回答します。

今後の道路政策や道路の整備・管理について

能代市

道路は、国民生活や経済・社会活動を支える最も基礎的な社会基盤であり、その整備は都市部、地方を問わず総ての地域、住民が利益を享受されるべきであります。

しかし、積雪寒冷な気候と急峻な地形による厳しい環境のもと、人々の生活道路が極めて重要な交通基盤となっているにも関わらず、他の地域と比べ道路整備が遅れている現状であります。

少子高齢化が進む中、活力があり、安全で安心して暮らせる地域づくりを推進するためには、広域化する隣接市町村との連携強化のための道路整備をはじめとして、産業並びに観光振興のためのアクセス整備、30分圏・1時間圏の拡大による救急医療体制の確立、災害発生時の代替路線の確保など、地域経済の活性化を支える基盤として勿論のこと、地域の人々の生命と財産を守る命綱ともなる、道路整備が最重要課題であります。

については、重点化を進める上で特に優先度の高い政策として、

- ①交通安全対策としての狭隘、急カーブ、急勾配等の路線の早期バイパス化
- ②救急搬送や災害時の代替路線確保及び観光や物流等地域経済の振興対策として
の高規格幹線道路の建設
- ③高齢化社会等に対応した人に優しい道路行政(歩道整備及びバリアフリー化等)
- ④高規格幹線道路の未整備区間の早期完成(ネットワーク化で事業効果が発揮される)

また、効率化を徹底的に進める上で重視すべきこととして、

- ①交通渋滞緩和及び高速道路の利用率向上対策として、地域事情を考慮した高速道路料金の引き下げ、無料化
- ②地域にあった道路構造の弾力的運用
- ③コスト削減のための工法等の新技術の開発・研究を行いその活用

以上であります。